

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 渡部 浩士
事務局長 佐藤 正行
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
印刷所 (株) 有 伸 商 会
TEL (011)814-6211

第33回 読書感想画中央コンクール 審査終了 第9回 読書感想画全道コンクール

第33回読書感想画中央コンクール・第9回読書感想画全道コンクールの審査が、1月8日(土)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も全道からたくさんの作品が応募されました。小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部門から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

小学校低学年の部



「土のいのちのはじまり」 函館市立駒場小学校2年 野村 秋人
『地球がうみだす土のはなし』福音館書店 (大西健夫・龍澤彩/文 西山竜平/絵)

最優秀賞

小学校高学年の部



「青い海と森の海」 登別市立幌別東小学校6年 成 澤 結紀乃
『サステナブルビーチ』 さ・え・ら書房 (小手鞠るい/作 カシワイ/絵)

中学校の部



「繋がり」 札幌市立藻岩中学校3年 上 村 明 愛
『塩の街』株式会社KADOKAWA (有川浩/作)

最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

《最優秀賞》

※土のいのちのはじまり

※青い海と森の海

※繋がり

《優秀賞》

※チョコレートのひみつきち

※けんたろうとコスモのゆめ

※平等な命

※きれいな海を守りたい

※世界とツナガッテル

※絶えぬ友情の煌めき

《優良賞》

かいぞくへのや

ちょこれいとやさん

楽しいクリスマス

※しあわせな学校

きらめく一つ一つの魔石

ワン猫が見つないだ友情

黒船、再来

※メロンが見つないだ友情

おばちゃんと憲法 ～学んでみよう！日本国憲法～

庭の外

あなたと一緒に

※終わりからの始まり。

《学校賞》

。小学校の部

札幌市立北郷小学校

。中学校の部

市立札幌開成中等教育学校

。高等学校の部

該当なし

※=全国行き作品

函館市立駒場小学校	2年	野村秋人
登別市立幌別東小学校	6年	成澤結紀乃
札幌市立藻岩中学校	3年	上村明愛

札幌市立北郷小学校	1年	佐藤星凜
別海町立別海中央小学校	3年	上杉実日子
札幌市立円山小学校	5年	福川皓貴
室蘭市立蘭北小学校	6年	工藤維華
札幌市立新川西中学校	2年	小山内優月
札幌市立陵北中学校	3年	横溝柚穂

札幌市立本郷小学校	1年	泉ひまり
札幌市立北郷小学校	1年	小野美玲
函館市立北星小学校	2年	白川永
帯広市立柏小学校	3年	村山夕樹乃
栗山町立継立小学校	4年	菅野葵
登別市立幌別東小学校	6年	成澤結紀乃
札幌市立発寒南小学校	6年	北療人
北海道教育大学附属旭川小学校	6年	大串雪花
旭川市立愛宕中学校	2年	大澤華恋
市立札幌開成中等教育学校	2年	寺部友里夏
市立札幌開成中等教育学校	3年	高口のか
札幌市立日章中学校	1年	黒滝百恵

第33回読書感想画中央コンクール・第9回読書感想画全道コンクール【総評】

本との出会いから思いを膨らませて

札幌市造形教育連盟 事務局長

東 尚 典

(札幌市立福住小学校 校長)

第9回の読書感想画全道コンクールには、昨年度より169点多い669点の作品が全道から集まりました。ここ数年、応募数が少しずつ減少していた中で、総点数が新型コロナウイルスの感染拡大前の2019年度の出品数に戻ったことは、大変喜ばしいことです。

当日会場に広げられた作品は例年にも増して力作揃いで、審査にあたる我々を大変悩ませましたが、本コンクールのテーマである「読書感想画」が子どもたちにとって魅力的であるとともに、保護者や学校の先生方等、子どもに関わってくださる皆様の温かいご理解と熱心なご指導のおかげと感謝申し上げます。また本コンクールを主催する北海道学校図書館協会と毎日新聞社には、本事業への熱意ある取り組みに敬意を表します。

当日の審査会は、子どもたちの発達段階を考慮し、小学校低学年、小学校高学年、中学校、高等学校の四部門に分けて審査をいたしました。

低学年では、本と出会い好きな場面を見つけ表したり、お話から想像したことを次々に画面に描いたりしている子どもたちの姿が浮かんできます。先生や友達、家族とお話しながら、好きな形や色を選び、楽しんで描いている様子が伝わってきました。

高学年になると、読んだ本から主題を捉え、場面構成や表現技法の工夫により描きたいテーマやイメージを表現しようとする姿が浮かんできます。今回も秀作が集まり、画材や色選びにも工夫が見られ、表現力の高さに感心しました。

中・高等学校になると、全体の出品数は決して多くはありませんでしたが、選んだ本の世界をじっくりと読み深め、自分の世界感も加えて表現する独創的で技巧的にも優れた作品ばかりで、選考には大変苦労しました。「描くことが好き」という思いと表現に向かう真剣な姿が作品から伝わってきました。

審査を通じて、読書により子どもたちのみずみずしい感性が刺激され、心に訴える素晴らしい表現として実を結んだ作品たちに出会えました。審査員一同、子どもたちのもつ優れた感性や造形表現のもつパワーを感じることができました。

本コンクールへの取組をきっかけとし、子どもたちがこれからも読書に親しみ素敵な本たちと巡り合い、そこから感じたこと、膨らんだイメージを形や色で表現することの楽しさを味わいながら、更に豊かな表現を目指してくれることを願っています。

奨励賞 受賞者一覧

奨励賞(小低)

札幌市北郷小	1年	斉藤 梨乃	札幌市ひばりが丘小	2年	山本 新大	栗山町継立小	4年	小倉 翔樹
札幌市北郷小	1年	島内 康介	札幌市北郷小	3年	小西 乙希	札幌市札苗緑小	5年	土谷 咲希
札幌市北郷小	1年	鈴木 愛実	札幌市北郷小	3年	中島 颯来	札幌市厚別通小	5年	吉田 桜彩
札幌市北郷小	1年	新家せれん	札幌市北郷小	3年	木下くるみ	札幌市札苗緑小	5年	佐々木 柚
札幌市北郷小	1年	佐藤 蒼斗	札幌市北郷小	3年	中條 瑛杜	札幌市札苗緑小	5年	川口 心緒
白老町萩野小	1年	大西 裕菜	札幌市北郷小	3年	菊地 洸希	札幌市札苗緑小	5年	佐藤あさひ
白老町萩野小	1年	石森 莉緒	札幌市北郷小	3年	工藤 愛子	札幌市札苗緑小	5年	中峰 紗愛
函館市石崎小	1年	畠山 渚	札幌市北郷小	3年	栗本 望愛	札幌市札苗緑小	5年	黒龍 照温
札幌市北郷小	1年	瀬下 桐子	札幌市北郷小	3年	和田山日子	札幌市札苗緑小	5年	大島 幸斗
函館市石崎小	1年	山市 優莉愛	札幌市北郷小	3年	加藤 好華	札幌市札苗緑小	5年	吉崎 滯音
白老町萩野小	1年	菅野 和	札幌市北郷小	3年	境田 朱花	札幌市札苗緑小	5年	高橋 碧
札幌市本郷小	1年	晒谷 楓	奨励賞(小高)			札幌市琴似中央小	6年	小出 蓮音
札幌市本郷小	1年	柳澤 愛結	札幌市白楊小	4年	猪口 誠太	札幌市琴似中央小	6年	服部 咲希
札幌市北郷小	1年	蒲生ひなた	札幌市北郷小	4年	池田 愛菜	函館市石崎小	6年	秋田谷悠翔
札幌市北郷小	1年	山下 颯斗	札幌市北郷小	4年	毛利 颯馬	函館市石崎小	6年	小石 月都
札幌市北郷小	1年	福井 絆菜	札幌市北郷小	4年	田村 夏珠	別海町別海中央小	6年	上杉正太郎
札幌市北郷小	1年	辻澤 羽琉	札幌市北郷小	4年	井塚 玲緒	札幌市厚別北小	6年	佐々木 碧
札幌市北郷小	1年	佐藤結希乃	札幌市北郷小	4年	山本 麗菜	恵庭市恵み野旭小	6年	黒川 花恵
札幌市北郷小	1年	越智 冬真	函館市石崎小	4年	武井 爽磨	北海道教育大学附属旭川小	6年	大串 雪花
札幌市北郷小	1年	山本 琥翔	札幌市北郷小	4年	佐々木優衣	奨励賞(中学)		
札幌市北郷小	1年	稲葉 羽奏	栗山町継立小	4年	棗棠 詩英	旭川市愛宕中	1年	小林 楓佳
札幌市本郷小	1年	山下 まお	札幌市北郷小	4年	鹿内 琥珀	旭川市愛宕中	1年	飯田 美渚
札幌市本郷小	1年	太田 初夏	札幌市北郷小	4年	佐藤 愛莉	旭川市愛宕中	1年	山上 美和
札幌市北郷小	1年	前田菜々美	札幌市北郷小	4年	高桑 悠仁	旭川市愛宕中	2年	平澤 萌梨
札幌市本郷小	1年	平間 瑛太	札幌市北郷小	4年	小鹿帆乃花	旭川市愛宕中	2年	宮本 和嘉
札幌市本郷小	1年	成田 虹心	札幌市北郷小	4年	菅野 実生	旭川市愛宕中	2年	三原 果楓
苫小牧市拓勇小	1年	京極 莉空	函館市石崎小	4年	関 美空	札幌市栄町中	1年	竹森 日向
札幌市厚別北小	1年	佐々木英俊	札幌市札苗緑小	5年	大川原寿一	札幌市栄町中	1年	福山 さゆ
札幌市本郷小	1年	楠戸ゆづき	札幌市札苗緑小	5年	林 柚那	札幌市手稲中	3年	小倉 深月
札幌市本郷小	1年	野田 愛実	札幌市札苗緑小	5年	柚原 大志	東川町立東川中	2年	下大蘭美心
札幌市本郷小	1年	佐藤 百佳	札幌市札苗緑小	5年	松宮 優愛	市立札幌開成中等教育学校	2年	沼田 嘉穂
函館市北星小	2年	中坂 湊乃	札幌市札苗緑小	5年	安藤 翼	市立札幌開成中等教育学校	2年	川口望恵奈
砂川市空知太小	2年	須藤優梨奈	札幌市札苗緑小	5年	名手乃ノ葉	市立札幌開成中等教育学校	3年	尾田 舞世
砂川市空知太小	2年	菊川 雅敬	札幌市札苗緑小	5年	島津 衣里	市立札幌開成中等教育学校	3年	白戸 遥香
函館市北星小	2年	遠峯安里奈	札幌市札苗緑小	5年	笹川 美結	奨励賞(高校)		
函館市北星小	2年	阿部明日真	札幌市札苗緑小	5年	藤原 心春	北海道富川高	2年	大庭 優季
北海道教育大学附属函館小	2年	高品 衣那	札幌市札苗緑小	5年	須崎千榎乃			
栗山町継立小	2年	國田 睦貴	札幌市白楊小	5年	小森菜乃夏			
			札幌市厚別通小	5年	吉田 桜彩			

第57回 全道研究部長会について

北海道学校図書館協会 研究部長 山田 佳子
(札幌市立北郷小学校 司書教諭)

■オンラインで開催

昨年度に引き続き、今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全道研究部長会はオンラインでの開催となりました。直接皆さんとお目にかかり、函館大会の成功をお祝いしたかったのですが、大変残念でなりません。ただ、遠隔地からの参加が容易であるという利点を生かし、会議を行うことができました。

今回の議題は、令和3年9月に行われた全道学校図書館研究大会函館大会（4日に函館で開催・収録、23日よりオンラインで全道に配信）の反省と支部交流でした。

■函館大会についての反省

<函館支部より>

- ・緊急事態宣言発令により、外部からの受け入れは難しく、9月4日のセッションと提言は、函館及び渡島地区からの参加で行った。授業の動画と合わせ、9月23日からオンラインにて開催することができた。
- ・全国からの申し込みもあり、200名の参加があった。遠隔からの参加が容易であること、何度も見直したり、複数の授業や提言・セッションを見たりすることができてよかったという声が寄せられた。半面、発表者は、生の反応がわからず残念に感じていた。
- ・1000円の参加費はどうだったか。生徒のバス代はかからなかったが、援助金は出ず、オンライン会議のための費用がかかった。動画の撮影や編集、冊子の印刷も自分たちで行ったが、負担が大きかった。
- ・校種を超えたつながりがなく、関係を広げられたことはよかったが、とても大変であった。どこの地域でもできることではない。今まで通りの開催は難しいのではないか。

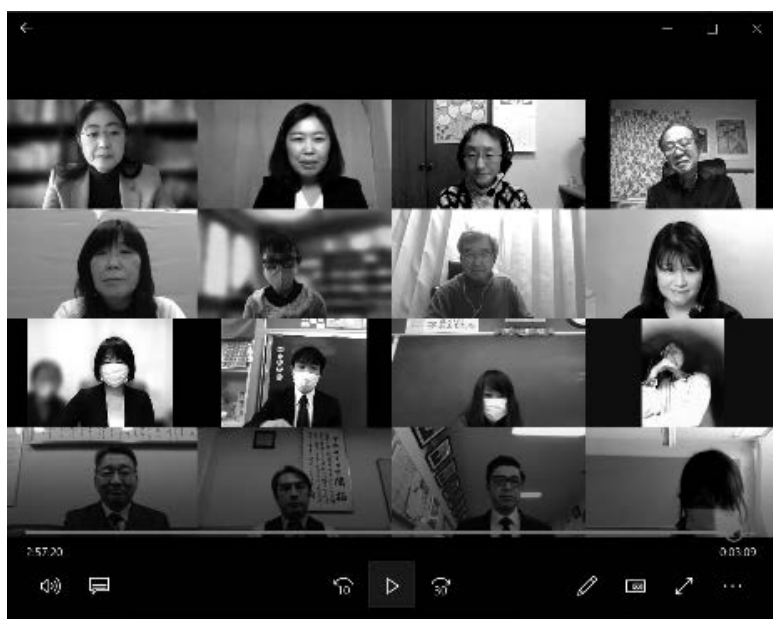
<意見交流>

- ・早めに授業者、提言者が決まっておき、十分な準備ができていたことがよかった。図書とICTを活用した先進的な授業が多く、勉強になった。
- ・札幌市でも授業を録画して研修会を行った。編集の大変さがよく分かった。
- ・組織作りは、まず声をかけることから。地域の実態を考えて開催形態を考えたい。

■支部交流

札幌、空知、苫小牧、帯広より報告いただきました。従来通りの活動は難しい中ですが、札幌支部と帯広支部では図書館クリニックを行っています。また、苫小牧支部は市教研の図書館部会がなくなり任意団体として継続することになった一方、帯広支部は帯教研の下部組織となり、予算が下りるようになったそうです。

このほか、岩見沢、旭川、紋別、美幌、十勝地区高校、余市各支部より資料を紹介しました。厳しい状況の中でも、活動に取り組まれる姿に敬意を表します。ご参加いただきました各支部の皆さん、ありがとうございました。



北海道学校図書館研修講座をふりかえって

■北海道学校図書館研修講座 実践発表 (D-1)

実践発表「一人一台端末、どう使ってる？」

札幌聖心女子学院中学・高等学校 学校司書 原 知 枝

本校では、今年度入学した中学1年生と高校1年生がChromebookを1人1台持つこととなりました。持たせるからには、ただ検索をして動画を見るだけにならないように昨年度からICT図書委員会の教員たちを中心に、授業での活用方法を検討してきました。そして職員研修で授業の実践発表、ChromebookやGoogleサービスの使い方を共有するなど準備を重ねた結果、授業でGoogleサービスを活用することに積極的な教員が多くなり、今年度は端末を持っていない学年の授業も含めてGoogleサービスを使ったものが多くありました。

今回の講座ではその中から図書館のオリエンテーションと図書館も関わる授業を取り上げ、どのように生徒の端末やGoogleサービスを活用したかを発表致しました。また、生徒に新聞利用を促すためにスプレッドシートで作る新聞記事見出しの検索システムを図書館で作ったので、共有できたらと思ってお紹介させていただきました。今回の実践発表で本校教員のICT活用に前向きな姿勢とその結果として生徒が端末や本など様々な情報を活用し、充実した学びの中にある姿がお伝え出来ていれば嬉しく思います。

新聞記事の見出し検索システムについては、まだまだ利用頻度が高いとは言えないため、今後新聞が役立つ場面で生徒へ使い方を教え活用して貰えるようにしていこうと考えています。

今回、講座の内容を考える過程で、今年度行っている授業の内容や図書館で行った支援内容をじっくりと振り返り、図書館としての支援方法の改善点に改めて気付くことも多くあり、今後の授業支援の改善に更に努めていこうという意欲が湧く貴重な機会となりました。そして、初めての動画作成で拙い仕上がりましたが、ご覧くださった方々に感謝申し上げます。

■北海道学校図書館研修講座 ファーストコース (B-3)

「情報活用能力の育成指導」

北海道七飯高等学校 司書教諭 加藤 孝志

お忙しい校務の合間に慣れないオンラインでの申し込みや、年明けの貴重な時間を動画視聴に充てるなど、研修講座での学びに多くの皆さんに取り組んでいただいたことに心から敬意を表します。

ファーストコースでもありますので、「情報活用能力」とはそもそもどういうもので、それが学校図書館の整備や活動にどうつなげていくことができるかということをお伝えできたらと考えながら講義動画を作成しました。

情報活用能力の「情報」とは、新聞・書籍・テレビ・インターネットから得られる情報や、家族・友達・先生・近隣の人との会話から得られる情報等、自分で見たり聞いたりして得られる、ありとあらゆる情報のことを指します。情報活用能力の学びは、ICTやコンピュータを扱うことだけではなく、「情報センター」「学習センター」としての学校図書館の出番であるということが出来ます。

全国SLAで定めている「情報資源を活用する学びの指導体系表」(2019年改定)に立ち戻ることで、学校図書館の情報メディア資源を利用した「学び方を学ぶ」活動を展開することが可能となるでしょうし、学校図書館年間活用計画の作成を全校で進めていくことも大切になってきます。

令和4年度から高等学校でも「総合的な探究の時間」が全面実施されることになり、問題・課題解決型の学びがさらに進みます。学校図書館は、生徒の情報の収集に役立つ資料の提供と「調べるスキル」指導に加えて、その情報を評価・検証し、客観性を獲得する「思考スキル」、さらには情報を整理し、まとめ発表する「発表スキル」に至るまで、生徒・教職員に提供・サポートできる機能を持つ存在として「学校教育の中核」としての役割が期待されています。

学校図書館を主体的、協働的な学びの場としてアップデートさせていくためにも、私たちが理論や実践を学び合っていく場としてこの研修講座が大きな役割を果たすことを願っています。

■第61回北海道図書館大会：第3講座

オンライン開催 (2021. 9/3 ~ 24)

「学校図書館の歩み～「人」をめぐる歴史と展望」

全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 野村 邦重

日本の学校図書館の歩みについてのまとまった文献としては、以下の4冊があげられる。

1. 『日本学校図書館史』 塩見昇/著 全国学校図書館協議会 1986.6
2. 『学校図書館はどうつくり発展してきたか 岡山市を中心に』
編集委員会/編 教育史料出版会 2001.7
3. 『学校図書館五〇年史』 編集委員会/編 全国学校図書館協議会 2004.7
4. 『学校図書館の出番です』 肥田美代子/著 ポプラ社 2017.12

残念ながら現在までの学校図書館の歩みを概括した著作は見当たらない。そこで、大学での司書教諭養成講習「学校経営と学校図書館」の講義の中で、日本の学校図書館の歩みを解説するにあたり、通史年表を作成し大きな時代の流れを概括した上で、現状の問題点と今後の方向について整理し、提示してきた。

北海道図書館大会の講座を担当するにあたり、とりわけ司書教諭と学校司書の「人」をめぐる運動についての意見の違いや対立について参考文献に当たり、理解を深めた。まだまだ前途多難な状況にあると思われるが、希望は見える。

- 学校司書の配置を進めること。これが何よりも前進の鍵である。
- 学校司書の研修の充実：力量アップ！
- 学校司書の実践の成果の周知：広く市民に認識させること。
- 学校司書の地位の向上：身分保障（正規職員へ）

○北海道立高等学校の学校司書の配置は、道の財政的には厳しい。これは、国による制度保障（財政処置）が必要となる。都道府県の格差が大きい状況にあるが、大同団結して取り組む必要がある。

※講座の記録と資料は、北海道学校図書館協会のHPに掲載している。

支部だより ● 苫小牧支部 ●

ピンチはチャンス 北海道学校図書館研究大会 苫小牧大会に向けて苫小牧SLAの挑戦

苫小牧市立錦岡小学校 教諭 鈴木 祐亮

「苦教研がなくなる！」そんな話を耳にしたのは、一昨年です。苫小牧市の市教研である「苦教研」は、教科部会、教科外の部会を含め24の部会に市内の小中学校の教員が所属し活動してきました。苦教研の学校図書館教育研究部会（以後図書館部会）は苫小牧SLAとして、読書感想文や感想画、調べる学習コンクールの審査のほか、学校図書館を活用した授業実践についても市内の研究大会などを通して研修してきました。また、苫小牧市内の学校図書館を支えてくれる図書ボランティアや学校司書や苫小牧市立中央図書館などとの連携も大きな役割でした。

そんな苦教研ですが、令和3年度ですべての部会で活動が終了になってしまいました。これは来年令和5年に予定されている北海道学校図書館研究大会苫小牧大会の実施に大きく影響します。今年度も新型コロナウイルスの影響で、定例の部会はほとんど開けていません。人数を限定して読書感想文や様々なコンクールの審査で集まることくらいしかできませんでした。そんな中で全道大会に向けて準備をしていかなければいけない状況で、大変なピンチを迎えているのが今の苫小牧支部です。

市教研である苦教研の図書館部会を母体として全道大会に向けて準備をするとなると、今までのメンバーで進めていくことが前提になります。しかし、今回、苦教研がなくなることは大きなピンチですが、1からではなく0からの組織づくりになることで、広くメンバーを募集し、仲間を増やしていく「チャンス」と捉え直すこともできます。私は、学校図書館研究大会の開催の意義は、学校図書館について今まで注目していなかった人にも、「学校図書館って結構いいね。」と思ってもらい、仲間を広げることだと思っています。「ピンチはチャンス」という言葉があるように、現状の困難さに悲観ばかりせず、乗り越えていく勇気をもって北海道学校図書館研究大会苫小牧大会の準備を進めていきたいと思えます。

令和3年度(2021年度) 北海道の先生がおすすめる本

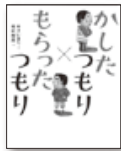
北海道指定図書

小学校低学年の部(1・2年)



悲しみのゴリラ

ジャッキー・アズーア・クレイマー/文
シンディ・ダービー/絵 落合 恵子/訳
クレヨンハウス 定価1,800円+税
母親を亡くした少年のもとに現れたゴリラ。少年の問いに一つひとつ答えます。深い悲しみにそっと寄り添う絵本。



かしたつもり×もらったつもり

かさいまり/作 北村 裕花/絵
くもん出版 定価1,400円+税
聞きまがいがから始まる。親友の男の子ふたりのけんかとお直り。小さな心のゆれが子どもたちの共感をよぶ物語です。



氷上カーニバル

あべ 弘土/作
のら書店 定価1,600円+税
"雪まつり"以前、札幌市でおこなわれていた"氷上カーニバル"。よるこびあふれる楽しい記憶を描いた美しい絵本。



アルフィー ゆくえふめいになったカメ

ティラ・ヒーダー/作 石津 ちひろ/訳
絵本塾出版 定価1,500円+税
ニアは、カメのアルフィーが大すき。ニアの7歳の誕生日の朝、アルフィーが姿を消してしまう。どこへいったの？

小学校高学年の部(5・6年)



しあわせなときの地図

フラン・ヌエヨ/文 スザンナ・セレイ/絵 宇野 和美/訳
ほるぶ出版 定価1,400円+税
戦争で町をでる前の夜、ソエは地図をひるげ、思い出の場所にするしをつけました。心に響く、小さな希望の物語。



消えたレッサーパンダを追い! 警視庁「生きもの係」事件簿

たけたに ちほみ/文 西脇 せいご/絵
学研プラス 定価1,400円+税
動物園からレッサーパンダが盗まれた! 警視庁で生き物の密輸などを扱う「生きもの係」が事件にせまる。迫真の実話。



きみの声がききたくて

オーウェン・コルフアー/作 P・J・リンチ/絵
横山 和江/訳
文研出版 定価1,400円+税
深い傷を負いほえることができなくなった小犬と、声を出すことをやめた少年。ふたりの同じねがいはかなうでしょうか。



命のうた

ぼくは路上で生きた十歳の戦争孤児
竹内 早希子/著 石井 勉/絵
童心社 定価1,400円+税
1945年、戦争が十歳の清一郎から、両親も奪った。食べる物も寝る所も無い中で子ども達はどのように生きてきたのか…。

小学校中学年の部(3・4年)



世界遺産知床の自然と 人とヒグマの暮らし

伊藤 彰浩/写真 伊藤 かおり/文
少年写真新聞社 定価1,600円+税
人前に姿を現し観光客を喜ばせる反面、地元の人々を不安にさせるヒグマと人との共存の知恵を知床から伝えます。



AIロボット、ひと月貸します!

木内 南緒/作 丸山 ゆき/絵
岩崎書店 定価1,200円+税
ぼくにそっくりのAIロボットがやってきた。名前はエイト。夢のような一か月が過ぎて…その日は来てしまった。

中学校の部



ドーナツの歩道橋

升井 純子/著
ポプラ社 定価1,400円+税
麦菜は/ン屋を営む両親と弟、祖母と暮らす高校一年生。介護が必要な祖母との毎日に、心は「好き」「嫌い」に揺れ…。



イーブン

村上 しいこ/作
小学館 定価1,400円+税
友人と喧嘩をして不登校になった美枝里は、キッチンカーでカレーを作るおじさんと少年に出会う。少女たちの成長物語。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。 [北海道学校図書館協会](#) 検索

第67回 青少年読書感想文全道コンクール 第47回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
■後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力/北海道読書推進運動協議会

北海道の本を読みましよう!

学校図書館情報

◆2022年度北海道学校図書館協会 定期総会の開催

日時：2022年5月7日（土）

場所：かでの27

※新型コロナウイルスの感染状況により、昨年同様の書面開催もしくはZoomによるオンライン開催の場合があります。

感染状況が今後どのようになるか不透明ですが、3月末に最終判断を行い、4月上旬には開催方法をお知らせします。明確な情報をお伝えできずご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆第67回青少年読書感想文全国コンクール表彰式

表彰式は、2月4日（金）に行われました。感染予防対策として、人数制限を設け指定席での参加となり、各県のSLA事務局（1名のみ）は別室での画面モニターでの観覧となりました。今回はオンラインで参加しました。北海道の受賞者は次のとおりです。

・全国学校図書館協議会長賞

(小高)旭川市立高台小学校 佐藤 開生さん

・サントリー奨励賞

(小低)小樽市立山の手小学校 佐々木 深悠さん

(小中)岩見沢市立栗沢小学校 成田 幸太朗さん

各支部の取りまとめや審査に当たられた皆様、改めてありがとうございました。私たちも労が報われた気持ちになりました。次回も子どもたちのために頑張って取り組んでいきましょう。

◆全国学校図書館協議会 各県SLA事務局長会議開催

昨年は中止になりましたが、今年は2月3日（木）にオンライン開催となりました。全国各地の学校図書館研究大会について交流しました。

◆第45回北海道学校図書館研究大会

今回の研究大会は令和5年に苫小牧支部が中心となって行う予定です。6ページの支部だよりに、鈴木祐亮事務局長の寄稿が掲載されています。組織の基盤づくりからスタートし、現状の困難を乗り越えようとする意気込みが伝わってきました。各支部と道事務局がより一層連携と協力を強め、活動を支えていきたいと思えます。早期の準備からゆとりをもって取り組み、北海道の総力で応援していきましょう。

◆「北海道の読書」の販売について

1月に読書感想文コンクール作品集「北海道の読書」の発送作業を終えました。まだ若干残部がありますのでお声がけいただき、追加注文がありましたらお申込みください。

事務局

事務局長 佐藤 正行(札幌市立西岡南小学校長)

事務局校 札幌市立西岡南小学校

〒062-0034 札幌市豊平区西岡4条12丁目7-1

TEL 011-582-6350 FAX 011-582-1590

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介

『学校図書館 ここはいつでも僕らの場所』

横山 寿美代（監修） 桒納 タオ（イラスト）

2021年7月30日初版 ISBN 978-4-87981-742-6

少年写真新聞社 2,000円＋税

学校図書館は本や資料が置いてあるだけの場所ではありません。学校司書や図書委員がいて、読書が好きな子もそうでない子も、いつでもみんなを大歓迎してくれる場所です。ちょっとしたトラブルを抱えた子どもが学校図書館と出会い、前に進んでいく様子が描かれています。文部科学省が定めた学校図書館の機能のひとつ、「心の居場所」をテーマに絵本になりました。オリエンテーションや読み聞かせなどでも活用できます。著者は東京都の学校司書。



編集後記

今年の学校図書館研修講座は、ICTを活用してグレードアップした形で100名以上の参加があり、オンライン懇親会の和やかさで終了いたしました。「願えば叶う」ことを、講義・実践の内容や運営について、選択肢の幅を広げる様子から実感しました。関係の皆様、ありがとうございました。

（編集：村山 知成 杉本 操 野村 邦重）
大久保 雅人 佐藤 正行

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>